

令和8年度 新潟市立臼井中学校 学校経営方針

0 はじめに

— これからの学校に求められること（学習指導要領 前文） —

一人一人の生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の作り手となることができるようにすること

これは、目指す生徒の姿ではありますが、私たち教職員も生徒の身近にいる大人としてその範を示せるよう努めていくとともに、臼井中学校の教育活動を組織的・計画的に組み立てていきたいと思います。

1 臼井地区で目指す子どもの姿

自分・仲間・地域を愛し、目標に向かってチャレンジする臼井の子

2 教育目標と目指す生徒の姿

自ら考える生徒

自分が置かれている状況や目の前にある課題を把握し、「今何をすべきか？」をこれまで得た知識や経験等を総動員して考え、自分の進むべき方向を定め、そこに向かって努力できる生徒の姿。

進んで行動する生徒

級友や地域の方々等、様々な人とかかわりながら協力し合い、進んで行動できる生徒の姿。その関わりの中で、自分とは違う考え方や価値観に触れ、これまでとは違った視点で物事を見たり、新しい考えを持ったりする。そのことが、自分の見方・考え方を広げ、深めることに繋がる。

最後までやりぬく生徒

自分の個性や可能性を大切にしながら、様々なことに興味・関心をもち、自分の納得がいくまでとことん追究し、自分自身を成長させる姿。自分の強みと弱みをありのままに受け止め、自分の特性にぴったりと合ったものを見付けることができる。

3 重点的な取組

(1) 自ら考える

- ① 追究意欲が高まる「学習課題」やアウトプット場面の設定と、学びを定着・深める「まとめ」「振り返り」を工夫した教育活動を充実させる
- ② 学ぶことの意義や学び方指導を充実させたり、家庭・地域と連携したりすることを通し、学びに向かう力を育成する

- ③ 自尊感情を高め、認めたり褒めたりする声掛けを実践する。

【キーワード】

確かな学力の育成、キャリア教育、P4C、アウトプット、ICTの利活用

(2) 進んで行動する

- ① グループワーク・ペアワーク・異学年交流を通じ、「認め合い・助け合い・期待をかけ合い・高め合う」支持的風土の醸成を推進する
- ② 地域や異学年との交流を通して、様々な考え方や価値観に触れる機会を充実させる
- ③ 生徒会活動や学校行事、体験的・自治的な活動の充実と各種アンケートの活用による、いじめ・不登校の未然防止・早期発見と適切な対応をさらに充実させる

【キーワード】

生涯を通じて学ぶ、いのちの教育、人権の尊重、インクルーシブ教育システム、

(3) 最後までやり抜く

- ① すべての生徒が「なりたい自分の姿」を課題設定し、自分への自信を実感できる総合的な学習の時間を展開する
- ② 定期的な教育相談や日常活動の見取りによる合理的配慮に基づく、個に応じた指導と支援を充実させる
- ③ 計画的な保健・健康・レジリエンス指導により、生徒自身が自らの心身の健康を管理できる力を育成する

【キーワード】

発達支持的生徒指導、誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育、体力・健康づくり、食育の推進、レジリエンス力の向上

(4) 地域と共に歩む

- ① 地域貢献の視点から、地域行事（春季祭礼、狸の婿入り、公園清掃）への生徒の参加呼びかけと協力体制づくりを推進する。
- ② 地域人材の活用による総合的な学習の時間（農業体験、職業体験、福祉教育）を充実させる。
- ③ 学校運営協議会（臼井小と合同）を中核とした小中連携事業を推進する。
- ④ ホームページや学校だより、オープンスクール等による情報発信を行う。

【キーワード】

地域とともにある学校、学・社・民の融合、郷土への誇りと愛着、社会貢献、地域貢献

4 教育活動の基本方針

<誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育を実現する>

- 認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う、「支持的風土」を定着させる。

「傾聴・受容」「支援」「自律」、そして「丁寧な言葉遣い」を職員の率先垂範を基に、あたたかい風土を築く

- 「凡事徹底」を合言葉に、挨拶や身だしなみなど、当たり前の行動ができるようにする。
- 生徒一人一人の自己実現に向け、学級活動・特別活動・学校行事等の教育活動に自己存在感が味わえる場面を意図的に設定する。そして、生徒の努力した過程を積極的に「認める」言葉かけに努める。

5 目指す教職員・教職員集団の姿

- (1) 生命の尊さを理解し、生徒の命と健康を第一に、教育活動や施設設備の安全確保に努める。
- (2) よき大人の手本として、生徒に行動で範を示すことができる。
- (3) 教職員と生徒の日ごろの人間的なふれあいと、生徒と共に歩む姿勢（認める・支える・励ます）を大切にし、授業等における生徒の充実感・達成感を生み出す指導を実践する。
- (4) 生徒の特性や状況に応じた適切な指導と不正や反社会的行動に対する毅然とした指導を通じて、生徒と教師の好ましい信頼関係を形成する。
- (5) 生徒や保護者の責任にせず、自らの力量を高める研修に継続して取り組む。
- (6) 臼井中教職員の一員として、個々の個性や持ち味を生かした協働体制を築き、補い合い、助け合い、組織的に課題解決にあたることのできる職員集団。
- (7) 生徒に前向きな言葉かけができるよう自身の健康管理に努めるとともに、苦しそう、抱え込んでいそうな同僚に気づき、支え合える教職員集団。
- (8) 信用失墜行為（非違行為）を全体にしない、させない、許さない教職員集団。

※ 体罰、飲酒運転、速度超過、交通加害事故、個人情報紛失、ハラスメント等の非違行為は、私たちの信頼を大きく裏切る行為であり、生徒、同僚、家族、学校に与える影響は計り知れません。また、体罰や不適切な言動は教育ではなく、決して許されるものではありません。

6 臼井中学校職員として大切にしたいこと

「環境が人を育てる」 ～ヒト、モノ、コトの繋がりを大切にする～

ヒト 誰もが自分らしさを発揮できる、支持的風土を定着する

- ・丁寧な言葉遣いを教師の率先垂範から定着させる
- ・言葉遣い指導を基本として、支援的リーダーシップを育成する

モノ みんなが気持ちよく過ごせる、教育環境を整備する

- ・教室や校地・校舎の環境整備と清掃指導を充実させる
- ・ICTをはじめとした教材・教具、教育支援ツールを効果的に活用する

コト 生徒が学校に来たくなる、魅力ある教育活動を展開する

- ・学校行事や生徒会活動を通して人間関係づくりと豊かな体験を実現する
- ・授業を通して生き方・学び方・関わり方を身に付けさせる